



こんにちは

2008.6.22 NO.361

日本共産党品川区議会議員 週刊区政報告

鈴木ひろ子 です

事務所 中延2-11-7 TEL3783-8833
区議団控え室(品川区役所内) TEL5742-6818

このニュースについてのご意見、ご要望をお寄せください。

共産党が条例提案しました

高齢者の入院時の負担軽減を

6/23 厚生委員会を傍聴ください

日本共産党区議団が提案した 「高齢者の入院負担軽減 支援金支給条例」

- ① 75歳以上の品川区民を対象。
- ② 入院や日用品購入の負担軽減が目的。
(ただし、差額ベッド代など
保険外医療は対象外)
- ③ 月額1万円を上限に支給。



高齢者の安心の第一歩に

日本共産党区議団が提案した「高

6月19日から第2回定例区議会が始まりました。日本共産党区議団は今議会に、高齢者の入院費用の負担を軽減するための支援金制度の条例を提案しました。すでに千代田区、新宿区が同様の制度を始めしており、共産党は以前から品川区でも実施するよう提案してきました。

高齢者医療入院時負担軽減支援金の支給に関する条例」は、75歳以上の区民が医療機関に入院した場合、月額1万円を限度に支援金を支給するものです。差額ベッド代と保険外診療を除いた入院費や下着など日用品の購入、紙オムツ代にも使えるようにして、高齢者の入院負担を軽減するものです。

この制度は、年間およそ2億円が必要になります。品川区の基金Ⅱ貯金は600億円超。昨年1年間だけで150億円も新たに積み立てており、やり繰りは十分可能です。

この間、高齢者の年金への増税で品川区の高齢者は年間約4億円もの増税になっています。これがさらに介護保険料や国保料に連動し、とてつもない負担増です。

例えば年金月額16万6000円の方は、この3年間で、住民税・所得税、介護保険料、国保料の負担合計が年間約6万円から17万円に、なんと2・8倍にもなっています。

その上に4月からの後期高齢者

共産党提案の
「高齢者の入院負担軽減
支援金支給条例」の審議は

6月23日(月)午前

午前10時からの厚生委員会で
審議されます。(3番目ですが
午前中だと思います)

ぜひ傍聴にお出てください。

医療制度。私は、高齢者の方から「長生きするなといわれているようだ」といわれるたびに胸が痛みます。自民・公明の高齢者いじめの政治はひどすぎます。日本共産党は子ども医療費に続いて高齢者の医療費も無料化をめざして提案をしています。今回はその第一歩として、「高齢者の医療費負担への支援策」の条例を提案しました。すでに、千代田区と新宿区が同様の制度を始めました。品川でも実現させるため、ご一緒に声を上げてください。

品川の医療と介護をよくする会が請願

後期高齢者医療制度の 廃止求める意見書を出して下さい

品川の医療と介護をよくする会(代表:ゆたか診療所権守光夫所長)が代表となり、区議会に対して「後期高齢者医療制度の廃止を求める意見書を政府に提出してください」の請願を出しました。

22団体が署名

この請願は個人署名ではなく、団体署名として取り組まれ、22団体が署名をしています。名を連ねているのは、品川の医療と介護をよくする会の他、ゆたか診療所、ゆたか調剤薬局、城南保健生協品川・豊支部、品川生活と健康を守る会、城南保健生協組合、南部医療労組ヘルパー分会ゆたか支部、ゆたか訪問看護ステーション、南部建設技能組合、首都圏建設産業ユニオン城



南支部、東京土建品川支部、東京都建設組合、品川地区労、新婦人品川支部、三ツ木診療所、すずらんゆたか、すずらん馬込、西品川訪問看護ステーション、みつぎ薬局、三ツ木診療所歯科、品川民商、共産党品川地区委員会(順不同)です。

提出時、会の代表が3日間にわたり全会派を訪ねて紹介議員を要請。共産党と生活者ネットが紹介議員になりました。

私は厚生委員として、飯沼議員と一緒に採択を目指して論戦をがんばります。

日本共産党

無料 法律・生活相談会

6月25日(水)午後6:30~

会場:鈴木ひろ子事務所
中延2-11-7 Tel.3783-8833

どんなことでもお気軽にご相談ください。

後期高齢者医療制度
「廃止を求める意見書の提出
に関する請願」の審議は、
6月23日(月)午後

厚生委員会は10時から行っていますが、請願審査は午後になる予定です。午後は3本の請願審査ですが、3番目になる予定です。

ぜひこちらにも傍聴にお出てください。